

2016年3月期決算説明会



2016年4月28日

1. 2015年度決算実績概要

2015年度実績(2015.4.1 - 2016.3.31) <対前年度実績>

ポイント 減収増益

(+ - ,+ / ▲は利益に対する影響を示す, 億円)

売上高	▲4,079	-	都市ガス その他エネルギー	(▲3,466: 原料費調整に伴う単価減▲3,318、数量減▲148) (▲612: 単価減による電力売上減 等)
営業費用	+4,281	+	都市ガス原材料費等 その他エネルギー	(+3,817: フレーム影響等による単価減+3,743、数量減+74) (+601: 電力の燃料費減、LNG販売の原材料費減 等)
営業利益	+203	+	都市ガス 器具・工事 その他エネルギー その他	(+ 349: ガス粗利+347(うちスライド差+414)) (▲22: 器具メンテナンス引当金繰入 等) (▲12: LNG販売+80、エネルギーサービス+25、電力▲131 等) (▲77: 海外▲89 等)
特別損益	▲121	-	当期: 減損損失▲282(バーネット▲128、QCLNG▲148 等)、投資有価証券評価損▲47 前期: 減損損失▲309(バーネット▲230、QCLNG▲65 等)、固定資産売却益61、投資有価証券売却益50	

(単位: 億円)

	2015年度	2014年度	増減	%
ガス販売量(百万m ³ , 45MJ)	15,436	15,541	▲105	▲0.7%
売上高	18,846	22,925	▲4,079	▲17.8%
営業費用	16,926	21,207	▲4,281	▲20.2%
営業利益	1,920	1,717	+203	+11.8%
経常利益...①	1,888	1,681	+207	+12.3%
親会社株主に帰属する当期純利益*	1,119	958	+161	+16.8%

* 2015年度から「当期純利益」より表記が変更。

気温影響...②	▲166	▲43	▲123	—
スライドタイムラグ(都市ガス)...③	692	278	+414	—
年金数理差異償却額...④	▲23	30	▲53	—
補正経常利益①-(②+③+④)	1,385	1,416	▲31	▲2.2%

経済フレーム	為替レート(¥/\$)	原油価格(\$/bbl)	平均気温(°C)
2015年度	120.17	48.70	16.6
2014年度	109.76<+10.41>	90.36<▲41.66>	16.0<+0.6>

<>内対前年度増減

年金	運用利回り ※コスト控除後	割引率		期末資産 (億円)
		年金分	一時金分	
2015年度	2.92%	0.236%	0.000%	2,810
2014年度	5.57%	0.829%	0.358%	2,810

年間期待運用収益率:2.0%

2014年度実績→2015年度実績

▲105百万m³ (▲0.7%)の減少

[うち気温影響▲223百万m³, ▲1.4%の減少]

■ 家庭用 ▲117百万m³ (▲3.4%)

- 気温要因 ▲149百万m³
- 日数影響 +8百万m³
- お客さま件数 +52百万m³
- その他 ▲28百万m³

■ 業務用 ▲72百万m³ (▲2.6%)

- 気温要因 ▲60百万m³
- 日数影響 +10百万m³
- お客さま件数 +20百万m³
- その他 ▲42百万m³

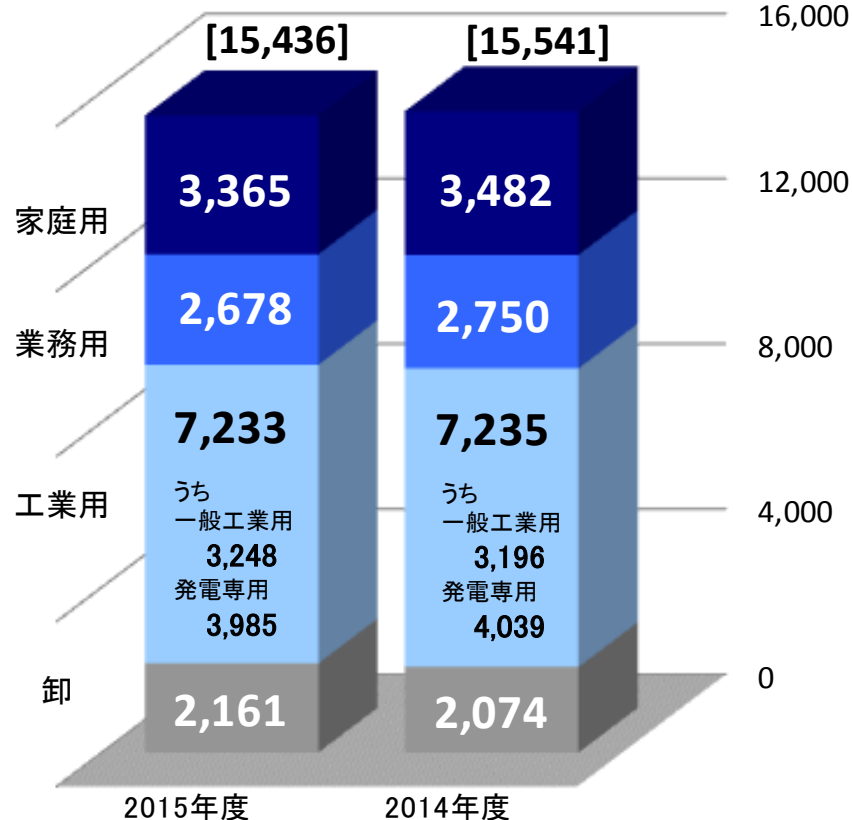
■ 工業用 ▲2百万m³ (▲0.0%)

- 一般工業用: +52百万m³
- 発電専用: ▲54百万m³

■ 卸 +87百万m³ (+4.2%)

- 気温要因 ▲14百万m³
 - その他 +101百万m³
- 卸供給事業者需要増等

ガス販売量: (百万m³以下四捨五入) 百万m³



お客さま件数(万件)

2015年度	2014年度	増減
1,139.8	1,126.3	+13.5 (+1.2%)

	2015年度	2014年度	増減
LNG液販売量(千t)	1,147	920	+227
平均気温(°C)	16.6	16.0	+0.6

2015年度実績

■ ビジョンベースガス販売量(単位:百万m3)

	2015年度 実績	2014年度 実績	増減
ガス販売量 (財務会計数値)	15,436	15,541	▲105 ▲0.7%
トーリングによる ガス使用量	1,717	1,669	+48 +2.8%
LNG販売量(m3換算)	1,434	1,150	+284 +24.6%
合計	18,587	18,360	+227 +1.2%

■ 工業用ガス販売量内訳(単位:百万m3)

	鹿島地区	その他	合計
発電専用	1,660	2,325	3,985
対14年度実績	+71(+4.5%)	▲125(▲5.1%)	▲54(▲1.3%)
一般工業用	209	3,039	3,248
対14年度実績	+3(+1.8%)	+49(+1.6%)	+52(+1.6%)
合計	1,869	5,364	7,233
対14年度実績	+75(+4.2%)	▲76(▲1.4%)	▲2(▲0.0%)

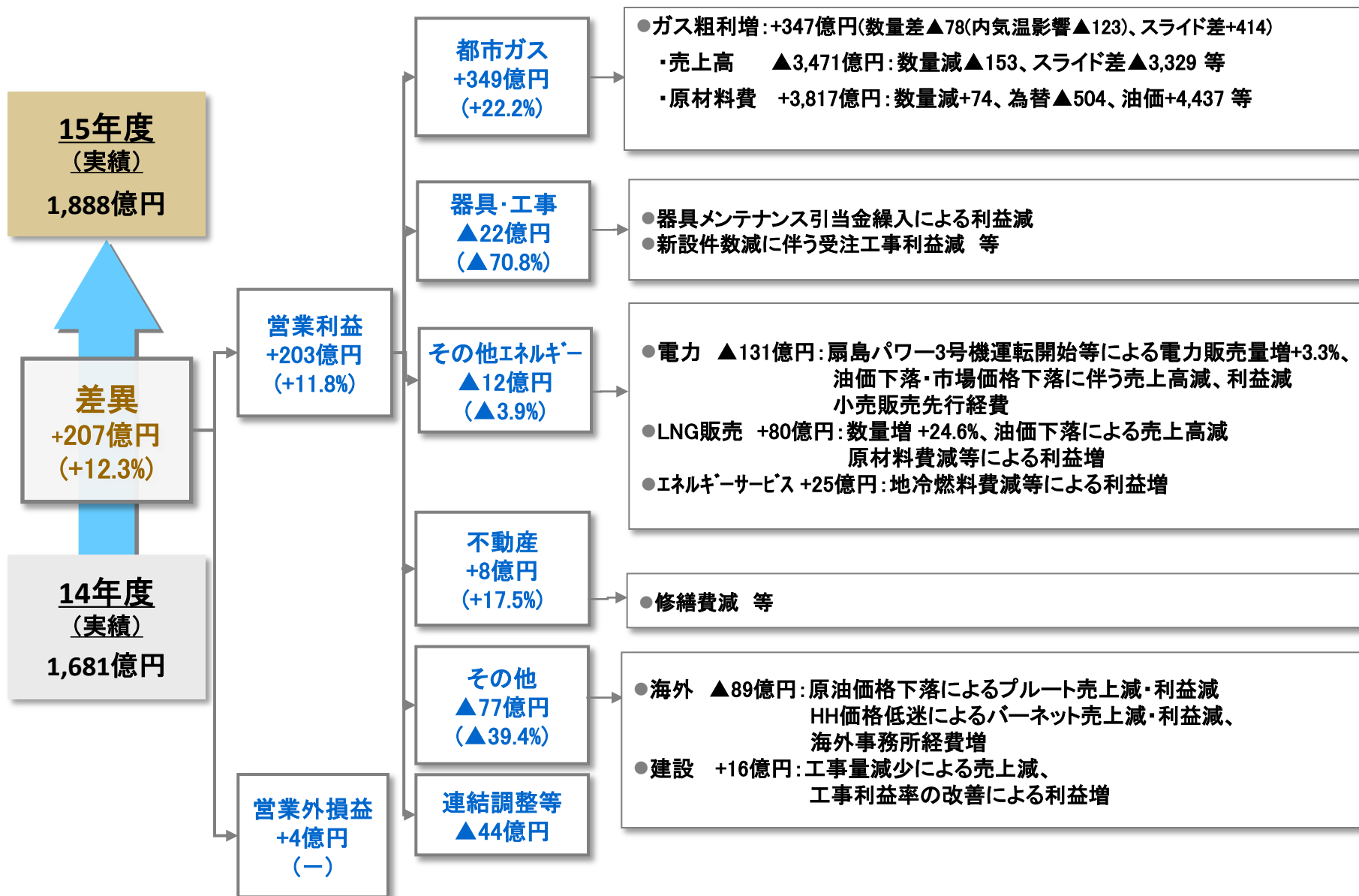
2015年度実績 セグメント別売上高・セグメント利益(対前年度実績)

(単位:億円)

	売上高				セグメント利益			
	2015年度	2014年度	増減	%	2015年度	2014年度	増減	%
都市ガス	12,943	16,409	▲3,466	▲21.1	1,920	1,571	349	22.2
器具及びガス工事	2,115	2,049	66	3.2	8	30	▲22	▲70.8
その他エネルギー	3,470	4,082	▲612	▲15.0	293	305	▲12	▲3.9
(電力事業)	1,248	1,658	▲410	▲24.7	93	224	▲131	▲58.5
不動産	255	259	▲4	▲1.6	51	43	8	17.5
その他	2,041	2,262	▲221	▲9.8	118	195	▲77	▲39.4
(海外事業)	301	405	▲104	▲25.6	18	107	▲89	▲82.4
調整額	▲1,979	▲2,137	158	—	▲472	▲428	▲44	—
連結	18,846	22,925	▲4,079	▲17.8	1,920	1,717	203	11.8

- 注記:
- ・ セグメント別の売上高には事業間の内部取引を含んでおります。
 - ・ 「その他エネルギー」には、「電力」「LNG販売」「エネルギーサービス」、「LPG等」、「産業ガス等」を含みます。
 - ・ 「その他」には、「建設」「船舶」「情報処理サービス」「海外」「クレジット・リース」等を含みます。
 - ・ セグメント利益の調整額の主なものは、各セグメントに配分していない全社費用です。
 - ・ ()内は内数表示

2015年度実績 経常利益分析 <対前年度実績>



※符号は利益の貢献に対して表示

設備投資

設備投資	主な件名	【参考】14年度実績
東京ガス: 1,828億円 (+241億円, +15.2%)	製造設備 : 380億円 (+21億円) 日立LNG基地建設等	東京ガス: 1,587億円
	供給設備 : 1,077億円 (+63億円) 茨城～栃木等幹線整備、需要開発関連等	
	業務設備等: 369億円 (+156億円) システム関連投資、不動産開発関連等	
連結子会社計: 539億円 (▲165億円, ▲23.4%)	<ul style="list-style-type: none"> ・海外上流投資 174億円(▲115億円) ・扇島パワー 59億円(▲102億円) ・TGES 97億円(▲13億円) 	連結子会社計: 704億円
合 計 2,320億円 (+75億円, +3.3%, 連結消去後)		合計: 2,245億円 (連結消去後)

※（ ）内増減は対前年度実績の数値

投融資

88億円(投融資122億円、回収▲34億円、対14年度+133億円)

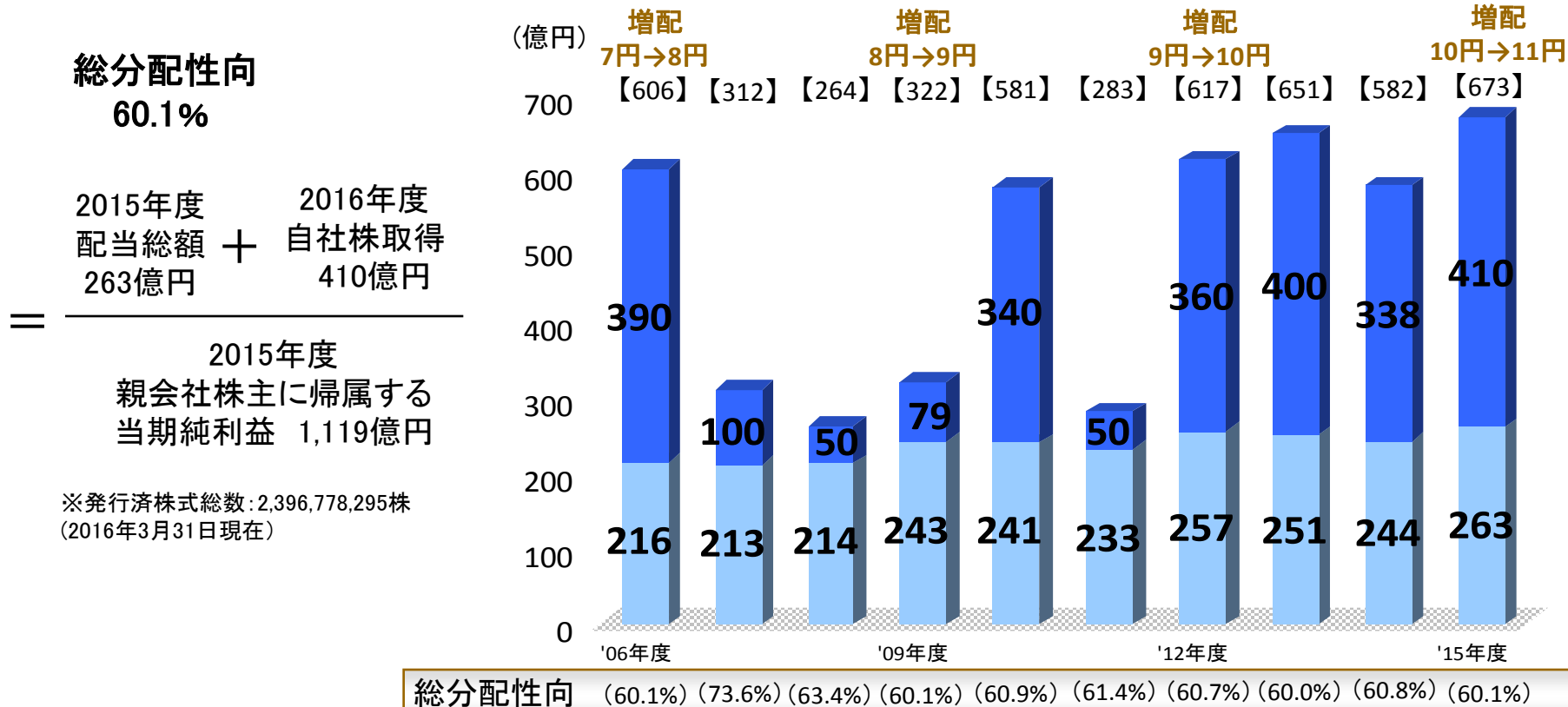
■ 当社は、財務方針において総分配性向(連結当期純利益に対する配当と自社株取得の割合)の目標を、2020年度に至るまで各年度6割程度とし、配当と自社株取得により株主還元を行っている。

■ 今般、収支動向を勘案し、一株当たりの期末配当金を1円増額し、経営の成果を株主の皆さまへ配分するもの。

- ・ 一株あたり年間配当金10円→11円(配当総額263億円)
- ・ 自社株取得については410億円・100百万株(4.2%)をそれぞれ上限に消却目的で取得

総分配性向60%を維持

総分配額、配当額の推移



2. 2016年度 通期見通し

2016年度見通し(2016.4.1 - 2017.3.31) <対前年度実績>

ポイント 減収減益

(+ - ,+ / ▲は利益に対する影響を示す, 億円)

売上高	▲3,036	：	-	都市ガス	(▲2,715:原料費調整に伴う販売単価減)
			+	電力	(+100:小売参入による販売量増 等)
営業費用	+1,596	：	+	都市ガス	(+1,621:原油価格下落による原材料単価減 等)
			-	電力	(▲190:扇島パワー3号機運転開始による減価償却費増、小売販売経費増 等)
営業利益	▲1,440	：	-	都市ガス	(▲1,093:ガス粗利▲698(うちスライド差▲778)、固定費等増▲395)
			-	エネルギー関連	(▲174:LNG販売▲115、プラント等工事量減少による利益減▲36 等)
			-	海外	(▲41:原油価格下落に伴う利益減 等)
特別損益	+400	：	+	当期	70億円:保有資産売却益、
				前期	▲330億円:減損損失▲282(バーネット▲128、QCLNG▲148等)、投資有価証券評価損▲47

(単位: 億円)

	2016年度見通し	2015年度実績	増減	%
ガス販売量(百万m ³ , 45MJ)	15,598	15,436	162	1.0%
売上高	15,810	18,846	▲3,036	▲16.1%
営業費用	15,330	16,926	▲1,596	▲9.4%
営業利益	480	1,920	▲1,440	▲75.0%
セグメント利益(営業利益+持分法損益)	491	1,941	▲1,450	▲74.7%
経常利益...①	400	1,888	▲1,488	▲78.8%
親会社株主に帰属する当期純利益	350	1,119	▲769	▲68.7%
気温影響...②	0	▲173	173	—
スライドタイムラグ(都市ガス・LNG販売)...③	▲81	803	▲884	—
年金数理差異償却額...④	▲241	▲23	▲218	—
補正経常利益...①-(②+③+④)	722	1,281	▲559	▲43.6%

経済フレーム	為替レート (¥/\$)	原油価格 (\$/bbl)	平均気温(°C)	年金	運用利回り ※コスト控除後	割引率		期末資産 (億円)
						年金分	一時金分	
2016年度見通し	115.00	37.50*	15.8					
2015年度実績	120.17(▲5.17)	48.70(▲11.20)	16.6(▲0.8)	2015年度実績	2.92%	0.236%	0.000%	2,810
				2014年度実績	5.57%	0.829%	0.358%	2,810

()内対前年度増減、 * 上期:35.00 下期:40.00

連結ガス販売量見通し

15年度実績→16年度見通し

+162百万m³ (+1.0%)の増加

[うち気温影響+302百万m³, +1.9%の増加]

■ 家庭用 +202百万m³ (+6.0%)

- 気温要因 +216百万m³
- 日数影響 +5百万m³
- お客さま件数 +51百万m³
- その他 ▲70百万m³

■ 業務用 +48百万m³ (+1.8%)

- 気温要因 +60百万m³
- 日数影響 ▲2百万m³
- お客さま件数 +22百万m³
- その他 ▲32百万m³

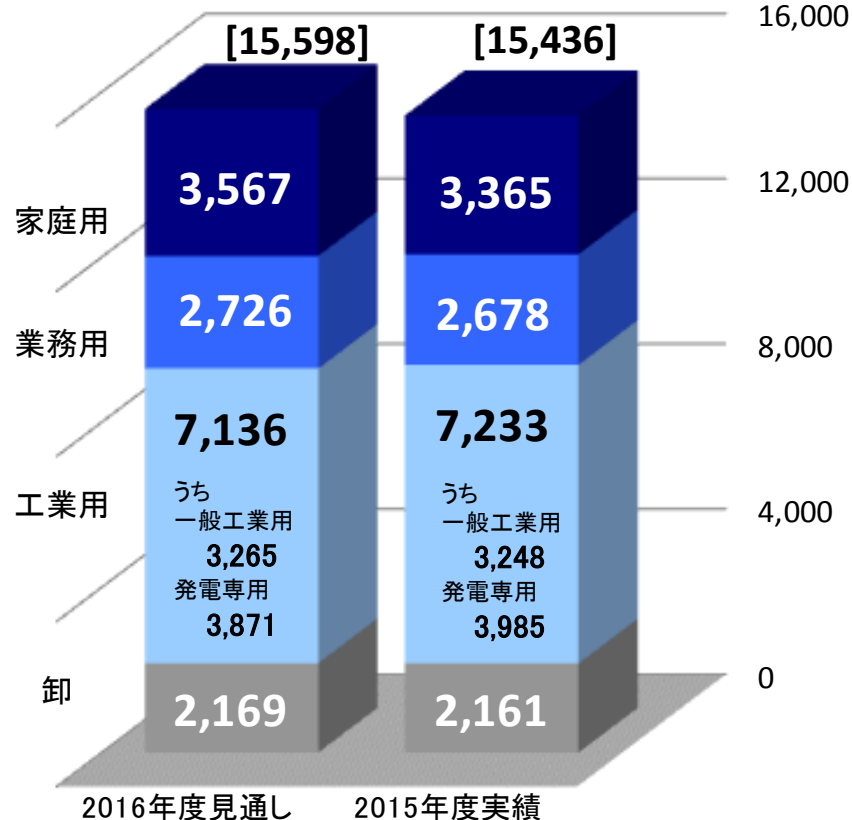
■ 工業用 ▲97百万m³ (▲1.3%)

- 一般工業用: +17百万m³
- 発電専用: ▲114百万m³

■ 卸 +8百万m³ (+0.4%)

- 気温要因 +26百万m³
 - その他 ▲18百万m³
- 卸供給事業者需要減等

ガス販売量: (百万m³以下四捨五入) 百万m³



お客さま件数(万件)

2016年度見通し	2015年度実績	増減
1,153.7	1,139.8	+13.9 (+1.2%)

	2016年度見通し	2015年度実績	増減
LNG液販売量(千t)	1,058	1,147	▲89
平均気温(°C)	15.8	16.6	▲0.8

2016年度見通し

●ビジョンベースガス販売量(単位:百万m3)

	2016年度 見通し	2015年度 実績	増減
ガス販売量 (財務会計数値)	15,598	15,436	+162
			+1.0%
トーリングによる ガス自家使用量	1,949	1,717	+232
			+13.5%
LNG販売量(m3換算)	1,323	1,434	▲111
			▲7.7%
合計	18,870	18,587	+283
			+1.5%

セグメント情報に関する主な変更のポイント

- 「電力」「海外」をセグメントとして独立
- 従来の「器具・工事」「その他エネルギー」「その他」を「エネルギー関連」「その他」に再編
- 「セグメント利益＝営業利益＋持分法損益」とする
(※詳細については、p.19「セグメント新旧対応表」を参照)

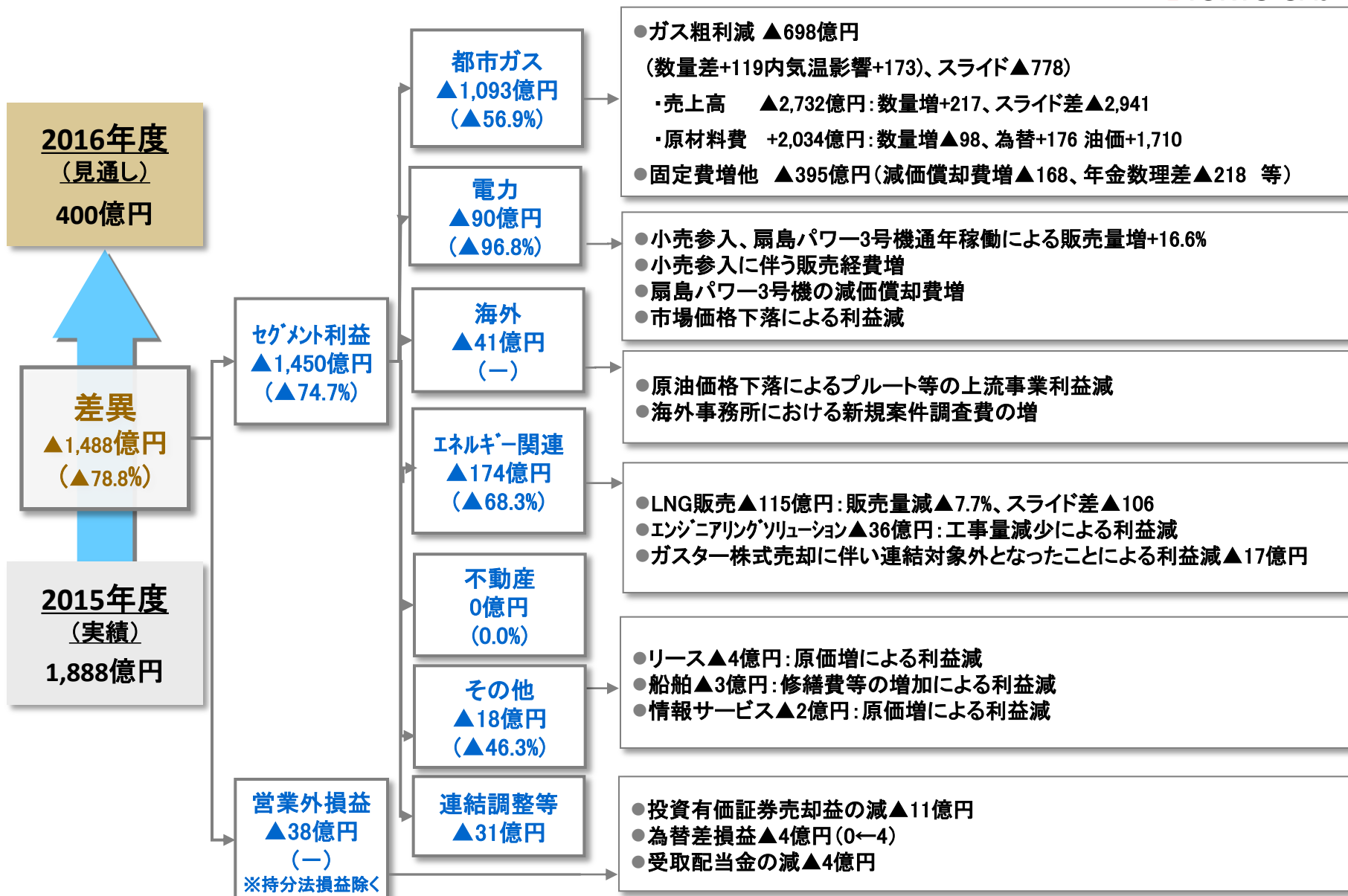
(単位:億円)

	売上高				セグメント利益(営業利益＋持分法損益)			
	16年度見通し	15年度実績	増減	%	16年度見通し	15年度実績	増減	%
都市ガス	10,228	12,943	▲2,715	▲21.0	827	1,920	▲1,093	▲56.9
電力	1,348	1,248	100	7.9	3	93	▲90	▲96.8
海外	304	301	3	0.7	0	41	▲41	—
エネルギー関連	4,717	5,503	▲786	▲14.3	81	255	▲174	▲68.3
不動産	401	396	5	1.2	61	61	0	0.0
その他	828	799	29	3.6	22	40	▲18	▲46.3
調整額	▲2,016	▲2,347	331	—	▲503	▲472	▲31	—
セグメント合計	15,810	18,846	▲3,036	▲16.1	491	1,941	▲1,450	▲74.7

- 注記:
- ・ セグメント別の売上高には事業間の内部取引を含んでおります。
 - ・ 「エネルギー関連」には、エンジニアリングソリューション、器具、ガス工事、LNG販売、LPG等、産業ガス等、建設を含みます。
 - ・ 「その他」には、船舶、情報処理サービス、クレジット・リース等を含みます。
 - ・ セグメント利益の調整額の主なものは、各セグメントに配分していない全社費用です。
 - ・ 新セグメントに基づく2015年度実績は概算値となります。

2016年度見通し 経常利益分析

〈対前年度実績〉



※符号は利益の貢献に対して表示。2015年度の新セグメント別実績は概算値のため、増減も概算値となります。

設備投資

設備投資	主な件名	【参考】15年度実績
東京ガス： 1,770億円 (▲58億円, ▲3.2%)	製造設備 :247億円 (▲133億円) 日立LNG基地拡張工事 等 供給設備 :1,002億円 (▲75億円) 古河～真岡幹線建設、需要開発関連等 業務設備等:519億円 (+150億円) システム関連投資、不動産開発関連等	東京ガス： 1,828億円
連結子会社計： 740億円 (+201億円, +37.3%)	<ul style="list-style-type: none"> ・海外上流投資 214億円(+40億円) ・不動産開発関連 89億円(+22億円) ・TGES 183億円(+86億円) 	連結子会社計： 539億円
合 計 2,480億円 (+160億円,+6.9%, 連結消去後)		合計:2,320億円 (連結消去後)

※（ ）内増減は対前年度実績の数値

投融資

283億円(投融資299億円、回収▲16億円、対15年度+195億円)

主要計数表(連結)

(単位: 億円)

	2016年度 見通し	2015年度 実績	2014年度 実績
総資産 (a)	22,270	22,515	22,576
自己資本 (b)	10,220	11,002	10,695
自己資本比率 (b)/(a)	45.9%	48.9%	47.4%
有利子負債 (c)	7,870	7,157	7,307
D/E レシオ (c)/(b)	0.77	0.65	0.68
親会社株主に帰属する当期純利益 (d)	350	1,119	958
減価償却 (e)	1,650	1,451	1,418
営業キャッシュフロー (d) + (e)	2,000	2,571	2,376
設備投資 (Capex)	2,480	2,320	2,245
ROA: (d) / (a)	1.6%	5.0%	4.3%
ROE: (d) / (b)	3.3%	10.3%	9.2%
TEP	▲359	676	434
WACC	3.4%	3.4%	3.6%
総分配性向	60%程度予定	60.1%	60.8%

注: 自己資本 = 純資産 - 非支配株主持分
 ROA = 純利益 / 総資産 (期首・期末平均)
 ROE = 純利益 / 自己資本 (期首・期末平均)
 BS関連数値は各期末時点の数値
 営業キャッシュフロー = 純利益 + 減価償却 (長期前払費用償却含む)
 総分配性向 = [N年度の配当 + (N+1)年度の自社株取得] / N年度の連結純利益

TEP (Tokyo Gas Economic Profit) について
 TEP = NOPAT - 資本コスト (投下資本 × WACC)
 ○株主資本 = 時価総額
 ○WACC算定諸元(2016年度見通し)
 ・有利子負債コスト 実績金利1.12%(税引後)
 ・株主資本コスト率
 ・リスクフリーレート 10年国債利回 0.44%
 ・リスクプレミアム 5.5% β値 0.75

3. 参考資料

原油価格JCCが \$1/bbl 上昇する場合

(単位:億円)

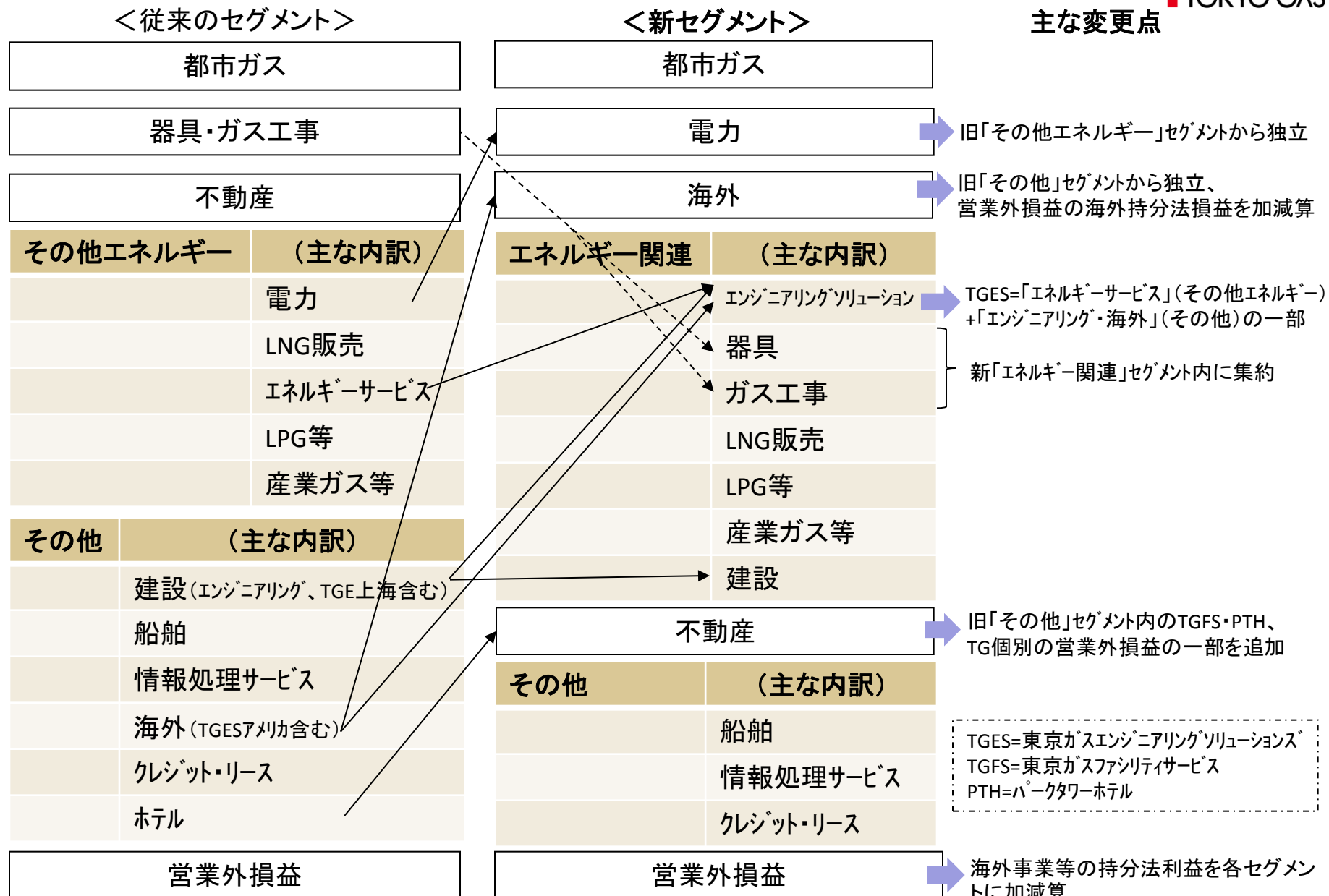
		収支影響時期				
		第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	年度計
変動時期	第1四半期	▲3	▲8	+7	+4	0
	第2四半期		▲2	▲9	+11	0
	第3四半期	—	—	▲2	▲12	▲14
	第4四半期	—	—	—	▲3	▲3
	通期	▲3	▲10	▲4	0	▲17

円ドルレートが ¥1/\$ 円安になる場合

(単位:億円)

		収支影響時期				
		第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	年度計
変動時期	第1四半期	▲5	+2	+1	0	▲2
	第2四半期	—	▲3	+3	+2	+2
	第3四半期	—	—	▲5	+5	0
	第4四半期	—	—	—	▲7	▲7
	通期	▲5	▲1	▲1	0	▲7

セグメント新旧対応表





＜見通しに関する注意事項＞

このプレゼンテーションに掲載されている東京ガスの現在の計画、見通し、戦略、その他の歴史的事実でないものは、将来の業績に関する見通しであり、これらは現在入手可能な情報から得られた東京ガスの経営者の判断に基づいております。

実際の業績は、さまざまな要素により、これら業績見通しとは大きく異なる結果となりうることをご承知おき下さい。実際の業績に影響を与えうる重要な要素には、日本経済の動向、原油価格の動向、気温の変動、円ドルの為替レート変動、ならびに急速な技術革新と規制緩和の進展への東京ガスの対応等があります。

TSE:9531